

令和 2 年度  
グループホーム 亀天福寿苑  
事業報告書



(1) 基本方針

「一緒に」 「共に」 を大切にし、私たちは支援します。

(運営方針)

- ① ご利用者一人一人が「その人らしく」生活が送れるように支援します。
- ② ご家族と積極的に交流し、「安心」を提供します。
- ③ 地域の方との交流を行い、より良い関係作りを行います。
- ④ 職員の質の向上に向かい、内部・外部研修に積極的に参加します。

(重点目標)

- ① ご利用者のあるがままの姿に寄り添い、その人らしく生き生きとした生活を送って頂けるように支援しました。

ご利用者との会話を通じて生活歴や趣味のお話しをしたり、ご家族からは、苑での様子をお伝えしながら、入居前の様子を伺う事ができました。また、毎月アセスメントを実施することで、昔からの習慣を大切にすることができました。ケアプランや支援経過記録・申し送りを行うことで職員の情報共有もできました。

季節の行事では、新型コロナウイルスの影響でご家族や地域の方に参加して頂く事が出来ませんでした。各ユニットで企画していた行事（夏祭り・敬老会・クリスマス会）を行いました。ご利用者の方と職員が一緒になり、楽しむ事ができました。また、気候が穏やかな日は、庭先・ベランダで過ごして頂き「良い天気ね」「外に出て過ごすのも良いね」と話しも弾んでいました。日々のレクリエーションでは、動くレクリエーションや壁画作りなどを提供し、静と動を交えながら機能維持に努めました。また、皆さまの輪に入る事が難しいご利用者には個別でレクリエーションを行いました。

- ② ご利用者、1人1人の心身の状態観察・把握を行い、異常の早期発見に努め、福寿苑で安定した生活が送れるように努めました。

毎日のバイタル測定を行い、記録し、申し送りをすることで、日々の状態把握に努める事ができました。また、看護師が各ユニットに1名おり、介護員から看護師への連携がスムーズに行うことができました。生活リハビリでは、見守りの姿勢を大切に、「ご自分が出来る事はして頂く」ことを大切にしました。集団レクリエーションでは、集団で楽しめる方も、難しい方もいらっしゃいました。難しい方に対しては、個別でのレクリエーションを行いました。1人1人の心身が安定するように工夫をしました。

- ③ 1人でも多くの方に福寿苑の良さを知って頂けるように努めました。

令和2年度は、新型コロナウイルス流行もあり、地域の方との交流が難しい年となりました。運営推進会議では、書面開催となり、文面でのお伝えになりましたが、地域の方からも「しんどい時ですが、頑張ってください」と励ましのお言葉を頂きました。

居宅介護支援事業所や地域連携室の方と連絡を取り合い、情報共有を行いました。広報を配ることで、話しやすい環境が作れたと思っています。申し込みの希望がある方に関しては、施設見学を勧め、苑の様子をお伝えしました。また、申し込みのご家族だけでなく、ご本人にも来て頂くようにしました。365日の申し込み・見学が出来る体制を取り、気軽に来られる雰囲気作りを行いました。

ご家族と一緒に受診に行かれる際は、暮らしの状況表や病状経過報告書を作成し、医療関係者と情報共有に努めました。また、入院中のご利用者にも、ご家族が安心できるよう医療と連携を図り、サポートしました。

今後も、居宅介護支援事業所や地域連携室の方と連絡を取り、情報共有に努め、多くの相談が受けられるようにします。

- ④ ビジネスマナーから介護・医療の専門的な知識や技術までを身につけ、柔軟に対応できる職員を増やすように心がけました。

内部研修では、講師を担当制にし、自らが学ぶ環境を作る事ができました。参加者からも発言してもらうような環境作りを行いました。外部研修も、新型コロナウイルスの影響で積極的ではありませんでしたが、法人全体で行う研修に参加しました。また、外部講師を招き研修を行いました。接遇の研修では、月に1度のビジネスマナーが出来ず、説明になってしまいました。来年度は、テーマを決めて行いたいと思います。

## (2) 利用者に対するサービス

### ● 食事

ご利用者の状態に合わせ、普通食からトロミ剤使用・ミキサー食・お粥・食器の対応等、安心してお食事がとれるようにしています。「温かいものは温かく」を大切に、食事提供しています。中庭で採れた野菜を活用して召し上がって頂きました。必要以上の食事介助は控え、ゆっくりと食事が出来る雰囲気作りを心がけています。おやつでは、季節に合わせておはぎ作りやおもち作りを行ったり、誕生日会では手作りおやつを実施しています。

### ● 入浴

1人ずつゆっくりとした入浴を行っております。ご利用者の希望を聞きながら、熱め・温めを把握し、気持ちよく入浴して頂けるように配慮しています。入浴前には、バイタルの確認を行い、異常時は看護師へ報告し、安全に入浴が出来るよう配慮をしています。入浴時には、職員とご利用者が会話をを行う事で日頃フロアではお話しされない事もお話しして下さいます。また、ご利用者の身体状態に応じて、普通浴・特殊浴、シャワーチ

ェアーの使用・清拭の実施をしています。脱衣場・浴室の温度やプライバシーに気をつけて介助を行っています。入浴時には、皮膚の状態観察を行い、異常があればすぐに看護師に連絡をとり対応を行っています。

- 排泄の介助

排泄チェック表に基づき、トイレへの声掛けや誘導を行う事でトイレでの排泄をして頂くように取り組んでいます。声掛け時、拒否がある方は、時間をおき対応をしています。プライバシーにも配慮を行いながら対応しています。汚染があった場合は、状況に応じて清拭やシャワー浴、入浴を行っています。排便コントロールも排泄チェック表に基づき、看護師と連携をとり下剤の服用や水分摂取、体を動かす等で調整を行っています。環境面についても、壁・便座・床等の掃除を毎日行い、汚染時にはその都度掃除を行い、清潔が保てるように行っています。

- 健康管理

毎日のバイタル測定・食事摂取量、体調の変化の有無・既往歴などを把握し、異常の早期発見に努めました。健康状態に異常がある時は、看護師と連携し、看護師の指示のもと、再検、必要時には早期受診による体調悪化予防や治療できるように行いました。また、医療機関と連携し、職員・ご利用者共に定期的な健康診断や予防接種を受けました。季節に留意した温度・湿度の調整や毎日の換気、水分補給を行い健康管理に気をつけました。

- 機能訓練

レクリエーションとして、午前中には体を動かすレクリエーションを取り入れました。毎日のラジオ体操を行い、体操後には風船バレーや玉入れやボールを使ったゲームなど楽しみながら体力作りに取り組むことが出来ました。午後からは、トランプやことわざクイズなど脳トレーニングを行ったり、指先を動かすように創作活動として季節の壁画作りや行事で使う創作物の作成に取り組みました。また、ご利用者に合わせて、個別でレクリエーションを取り入れています。日々の生活の中で、台拭き、洗濯物畳みや洗濯物干し、ご自分で洗濯物を居室へ持って帰って頂く等自然に身体を動かして頂いています。また、手を出しすぎない介護を行う事で残存機能を使って頂いています。自由に動いて頂くようにしています。

- 行事

ご利用者には四季を感じて頂けるように、季節に合わせた行事を行いました。令和2年度は、新型コロナウイルスの流行もあり、夏祭り、敬老会等ご家族や地域の方と一緒に過ごす事が出来ませんでした。各ユニットで季節に合わせた行事を行いました。餅つき大会やおはぎ作りを行いご利用者から教えていただく行事も取り入れました。各ユニットでは、おやつ作り、壁画作りを行いました。気候が良い日は戸外食も行っています。ご利用

用者の笑顔が多く見られ、季節を感じて頂く事のできる行事を今後も取り入れていきます。

- ボランティアの受け入れ、地域交流

令和2年度は、新型コロナウイルス流行の為、実施できませんでした。今後は、感染予防を徹底した上でのボランティアの受け入れや地域交流を考えて行きたいと思います。

- 防災・防火対策

年に2回、4月と10月に苑内での防災訓練を実施しています。南海地震を想定したり、立地場所から土砂災害への対応の訓練も行いました。今年も、ご家族も一緒に行いました。防火訓練時には、夜間帯と日勤帯の訓練を行っています。また、水消火器を使用しての消火訓練や防災設備の講習を行っています。防災の知識を高めるために防災に関する勉強会を行っています。高部地区における防災会議にも出席させて頂いています。今後も南海地震を視野に入れ、地域の方と連携できるよう、より力を入れて取り組みたいです。

- 職員研修

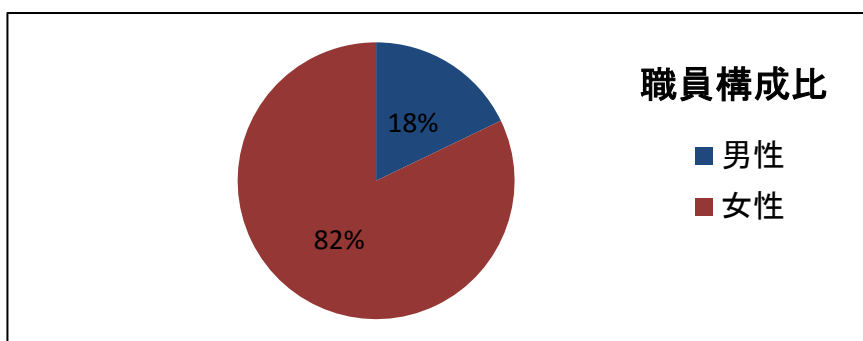
内部研修の参加により、知識・技術の習得に努めました。年間スケジュールに沿って毎月内部研修を行いました。講師にあたる職員が勉強を行い、発表を行いました。内部研修では、職員の意見を取り入れ、興味・関心のある内容を含むようにしました。外部研修では、新型コロナウイルス流行の為、参加できませんでした。法人内で行った研修や外部講師に来て頂き研修を行いました。今後も知識・技術の習得を行い、ご利用者により良い支援を行うよう努めていきます。

## 1. 事業所

### ① 概要

事業所名	グループホーム 亀天福寿苑		
事業所種別	認知症対応型共同生活介護事業所		
事業所住所	今治市高部字碁石山甲661番地1		
管理者職名	藤原 裕子		
職員数	男性	女性	総数
	5名	23名	28名

(令和3年3月31日現在)



### ②職員紹介

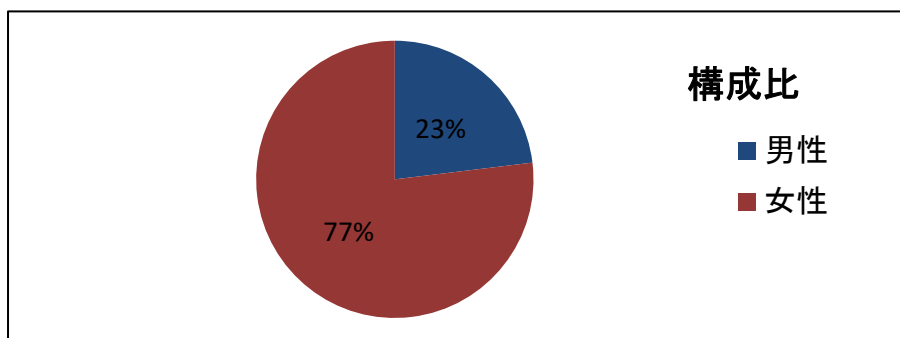
亀天福寿苑は、管理職・看護師・計画作成担当者・介護員にて形成されております。

管理職1名、計画作成担当者3名、看護師3名、介護員21名でご利用者27名の支援を行っています。

介護員18名のうち、介護福祉士5名 初任者研修修了者10名 実務者研修修了1名がご利用者の支援を行っております。管理職、計画作成担当者、看護師にも、社会福祉士・介護福祉士の資格の取得者や認知症リーダー研修修了者など、認知症対応共同生活介護には欠かせない専門知識を有した職員が所属しております。また、手作りお菓子や作品制作、昔話を得意とする職員が揃っています。亀天福寿苑が運営理念として掲げている「一緒に共に」を大切に、私たちは支援します。」を大切に職員一同、支援を行っています。

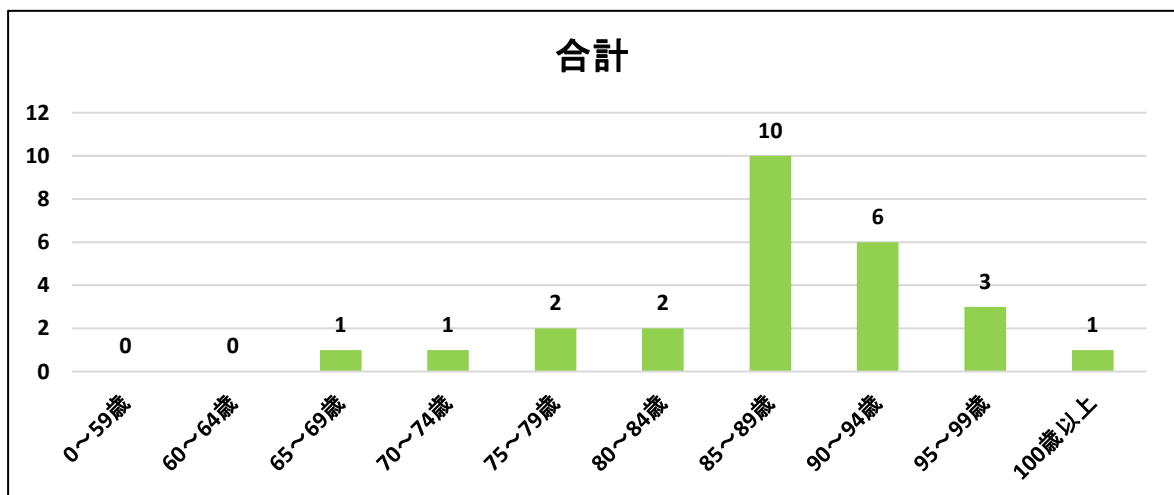
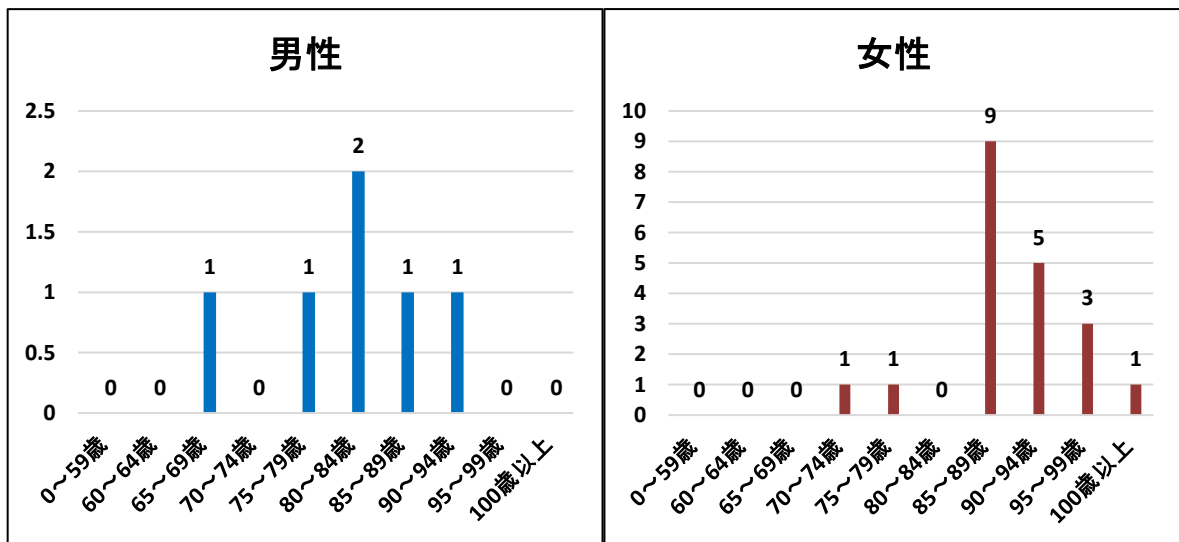
## 2. 定員及び現在人員(令和3年3月31日現在)

定員	現在人員	性別	
		男性	女性
27名	26名	6名	20名



## 2. 年齢別人員

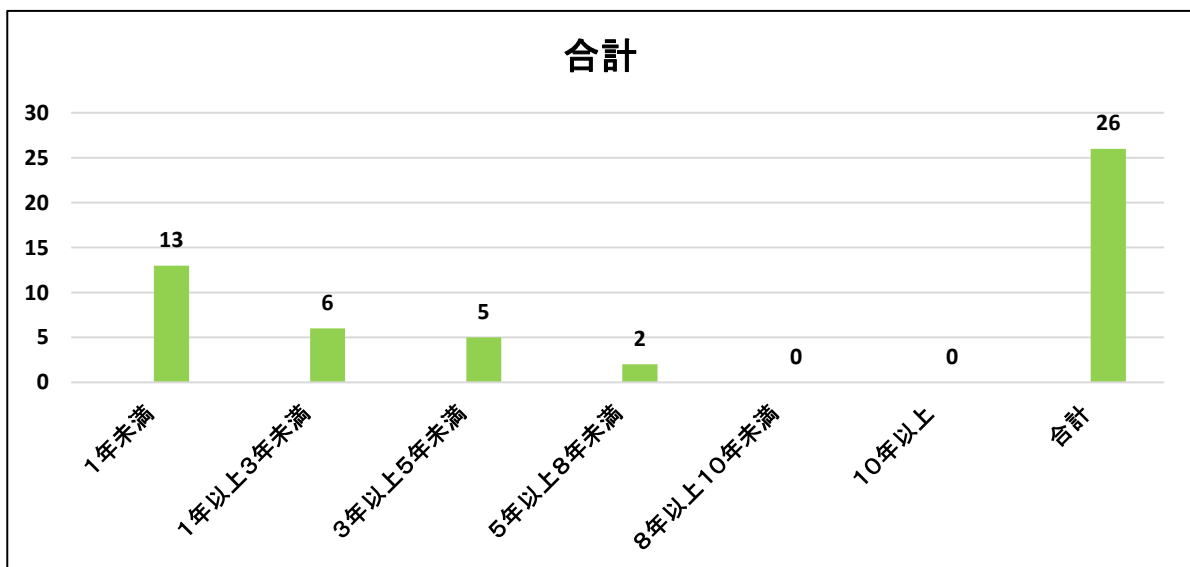
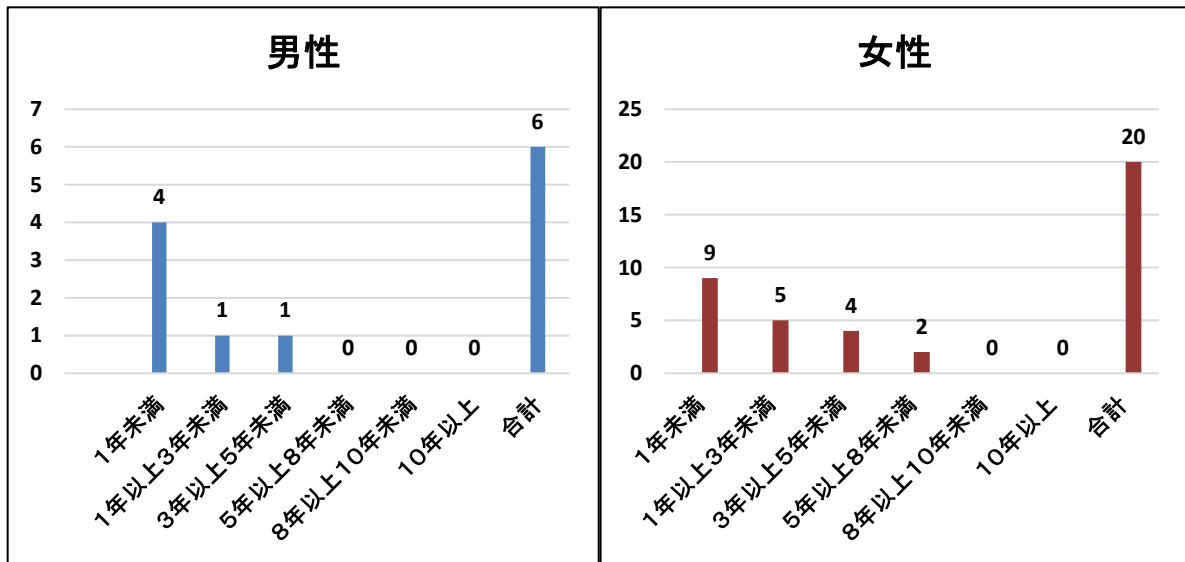
	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0
65～69歳	1	0	1	4
70～74歳	0	1	1	4
75～79歳	1	1	2	8
80～84歳	2	0	2	8
85～89歳	1	9	10	38
90～94歳	1	5	6	23
95～99歳	0	3	3	11
100歳以上	0	1	1	4
合計	6	20	26	100
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	92	69	81.7	87.7
女性	103	73	89.5	





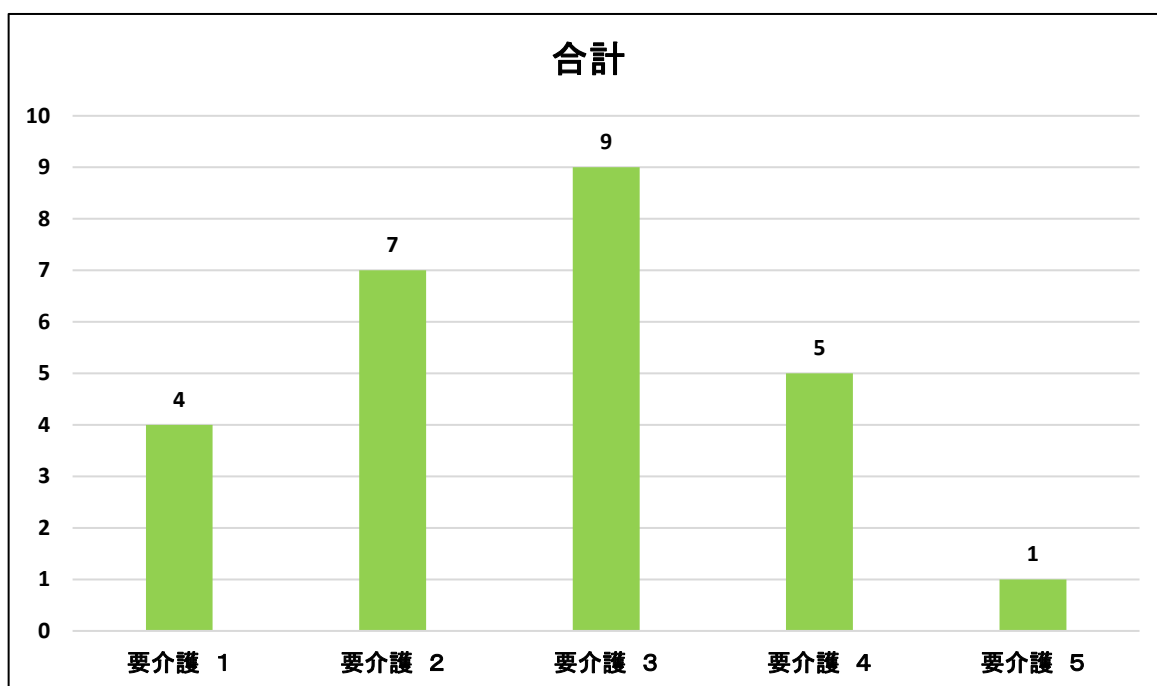
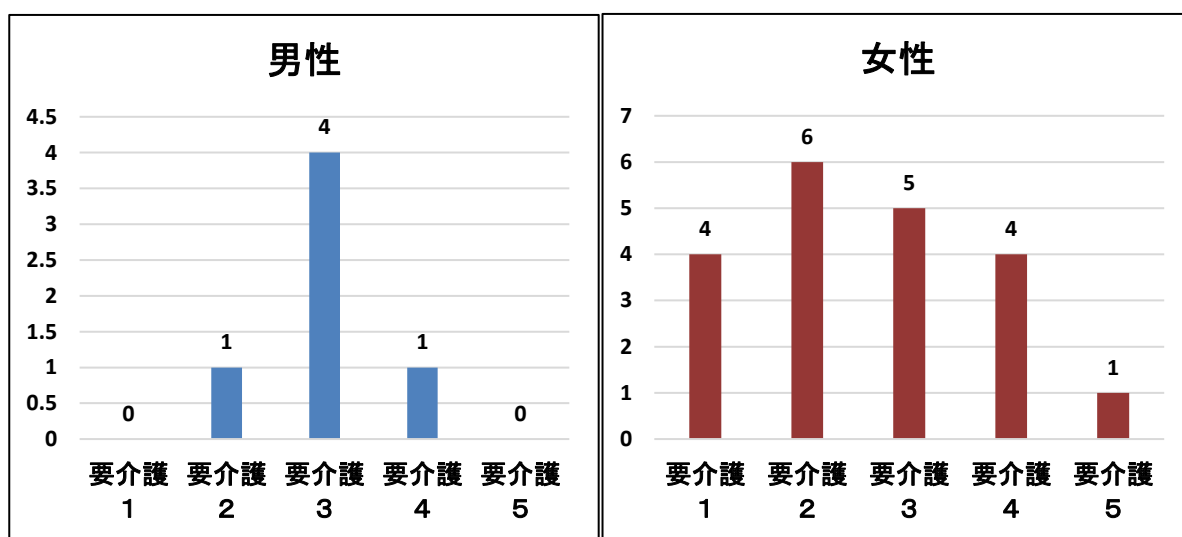
### 3. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	4	9	13	50
1年以上3年未満	1	5	6	23
3年以上5年未満	1	4	5	19
5年以上8年未満	0	2	2	8
8年以上10年未満	0	0	0	0
10年以上	0	0	0	0
合計	6	20	26	100
平均入居期間	1年4か月	2年3か月	2年0か月	



#### 4. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	0	4	4	15
要介護 2	1	6	7	27
要介護 3	4	5	9	35
要介護 4	1	4	5	19
要介護 5	0	1	1	4
合計	6	20	26	100
平均介護度	2.7	3	2.6	



5. 面会状況(令和2年4月1日～ 令和3年3月31日迄の1年間)

総数	8
1か月平均	0.66人
最高(1人あたり)	4回
最低(1人あたり)	1回
年間1人平均	0.3人
1か月1人平均	0.025人

6. 研修実施状況

**【内部研修】**

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
4月	利用者様の自尊心を傷つけない声掛けを行う	介護職員	15名
5月	疾患・既往歴を理解し、周辺症状に寄り添う対応を行う	ユニットリーダー	14名
6月	食中毒の原因・予防方法を理解し、手洗い、キーパープロでの消毒を徹底する	看護師	13名
7月	身体拘束・虐待について学び、実践に活かす。	介護職員	14名
8月	ケアプランの根拠となるアセスメントの重要性を理解しより多くの気づきができるようになる。	介護職員	16名
9月	記録の必要性を理解し、ケアプランに沿った記録や利用者様の良さを記録し、ケアの質を高める。	管理者	16名
10月	防災・防犯に大切さを理解し、対応や流れを把握する。	介護職員	14名
11月	事故報告書・ヒヤリハットの大切さを理解し、ヒヤリハットを多く出す。	ユニットリーダー	14名
12月	コロナウイルスの性質を知り、感染症対策が出来る。	管理者	14名
1月	身体拘束を何故してはいけないかを考え、より質良いケアを行う。	介護職員	12名
2月	各ユニットの利用者様が内服している薬を再確認し、認知症安心ケア10か条を心掛けて支援することができる	外部講師	16名
3月	利用者様の普段の状態観察をしっかりと行い緊急時には、迅速な対応ができるように流れを把握しておく	介護職員	16名

**【外部研修】**

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
11月	講義	新型コロナウイルス対策実技研修	介護職員
11月	講義	コロナウイルスについて	管理者
11月	講義	技能実習指導員講習	介護職員
11月	講義	防犯について	管理者・計画作成担当者・介護職員
12月	講義	甲種防火管理新規講習	介護職員
2月	講義	技能実習指導員講習	介護職員
2月	講義	技能実習責任者講習	管理者
2月	講義	生活指導員講習	介護職員

7. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

**【行事・クラブ活動】**

実施月	指導援助者	内容	参加者数
4月	介護職員	お花見ドライブ	24名
5月	介護職員	サツマイモ苗植え	13名
6月	介護職員	カラオケ大会	25名(各ユニット)
7月	介護職員	七夕ゼリー作り	25名(各ユニット)
8月	介護職員	夏祭り	26名(各ユニット)
8月	介護職員	花火	25名(各ユニット)
9月	介護職員	敬老会	22名(各ユニット)
9月	介護職員	おはぎ作り	22名(各ユニット)
10月	介護職員	運動会	24名(各ユニット)
11月	介護職員	いもほり	24名(各ユニット)
11月	介護職員	スイートポテト作り	24名(各ユニット)
12月	介護職員	クリスマス会	24名(各ユニット)
12月	介護職員	おもち作り	25名(各ユニット)
1月	介護職員	鏡開き	23名(各ユニット)
2月	介護職員	節分	26名(各ユニット)
3月	介護職員	合同誕生日会	18名(各ユニット)
2月	介護職員	バレンタイン	27名(各ユニット)
3月	介護職員	ひな祭り	26名(各ユニット)
3月	介護職員	おはぎ作り	26名(各ユニット)

**【地域交流・ボランティア受入れ状況】**

実施月	団体名	内容	参加者数
		なし	

9. 苦情状況

**【苦情状況】**

日付	法人との関係	内容
令和2年度		特になし